

令和7年7月29日
政 策 経 営 部
財 務 部

ふるさと納税による区税への影響等について

令和7年度のふるさと納税による区税への影響額と、令和6年度の区への寄附実績を集計したので、下記のとおり報告する。

記

1 区税への影響額（令和7年7月1日時点）

（1）寄附金額合計

30,620,124千円（前年度比 2,863,629千円増）

（2）区税額控除額

12,449,462千円（前年度比 1,380,107千円増）

（3）人 数

158,709人（前年度比 7,186人増）

（4）そ の 他

総務省の「課税状況調」等の数値とは異なる場合がある。

2 令和6年度 区への寄附実績

（1）寄附金額合計

1,039,388千円（前年度比 706,782千円増）

（2）寄附件数

10,033件（前年度比 2,294件増）

（3）その他

- ・ 金額は、個人からの寄附に加え、法人・団体等を含む。
- ・ 件数は、一度の寄附で2つの用途を選択した場合、当該寄附は2件として計上している。

（4）寄附金額内訳

① 金額（千円）

区分	令和6年度	令和5年度	差分
区内個人	78,965	81,946	△2,981
区外個人	258,152	234,569	23,583
その他 （遺贈、法人・団体・区分不明※）	702,271	16,092	686,180
合計	1,039,388	332,606	706,782

（数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。）

※寄附者が特定できない寄附を「区分不明」としている。

② 件数（件）

区分	令和6年度	令和5年度	差分
区内個人	1,094	1,004	90
区外個人	8,784	6,283	2,501
その他 (遺贈、法人・団体・区分不明※)	155	452	△297
合計	10,033	7,739	2,294

※寄附者が特定できない寄附を「区分不明」としている。

【参考】

世田谷区の過去のふるさと納税の状況

(単位:千円)				(単位:千円)	
区から流出した額(歳入減)※1				区が受領した寄附金額(歳入増)※2	
年度	人数(人)	寄附金額	控除額(区)	寄附金額※4	左記のうちふるさと納税分※5
令和7年度	158,709	30,620,124	12,449,462	-	-
令和6年度	151,523	27,756,495	11,069,355	1,039,388	337,117
令和5年度	139,499	24,608,604	9,892,186	332,606	316,514
令和4年度※3	123,478	21,763,743	8,712,975	285,809	204,591
令和3年度※3	100,828	17,528,505	7,044,361	149,442	88,992
令和2年度※3	76,907	14,142,300	5,624,718	410,007	176,196
令和元年度	73,814	13,564,489	5,391,171	104,731	61,498
平成30年度	56,944	10,941,926	4,111,178	112,058	70,580
平成29年度	44,580	8,397,501	3,107,779	74,974	51,262
平成28年度	24,345	4,363,880	1,653,414	103,307	24,610
平成27年度	6,896	759,420	261,456	24,117	15,816
平成26年度	2,144	310,535	89,835	449,890	1,234
平成25年度	1,663	213,026	60,645	46,029	2,168
平成24年度	8,605	1,270,575	259,196		
平成23年度	441	221,657	32,362		
平成22年度	380	93,598	24,439		
平成21年度	417	358,037	30,549		

※1 各年度の前年の1月1日～12月31日の所得等により算出された数値

※2 各年度の4月1日～3月31日に区が受領した数値(平成25年度から集計を開始。)

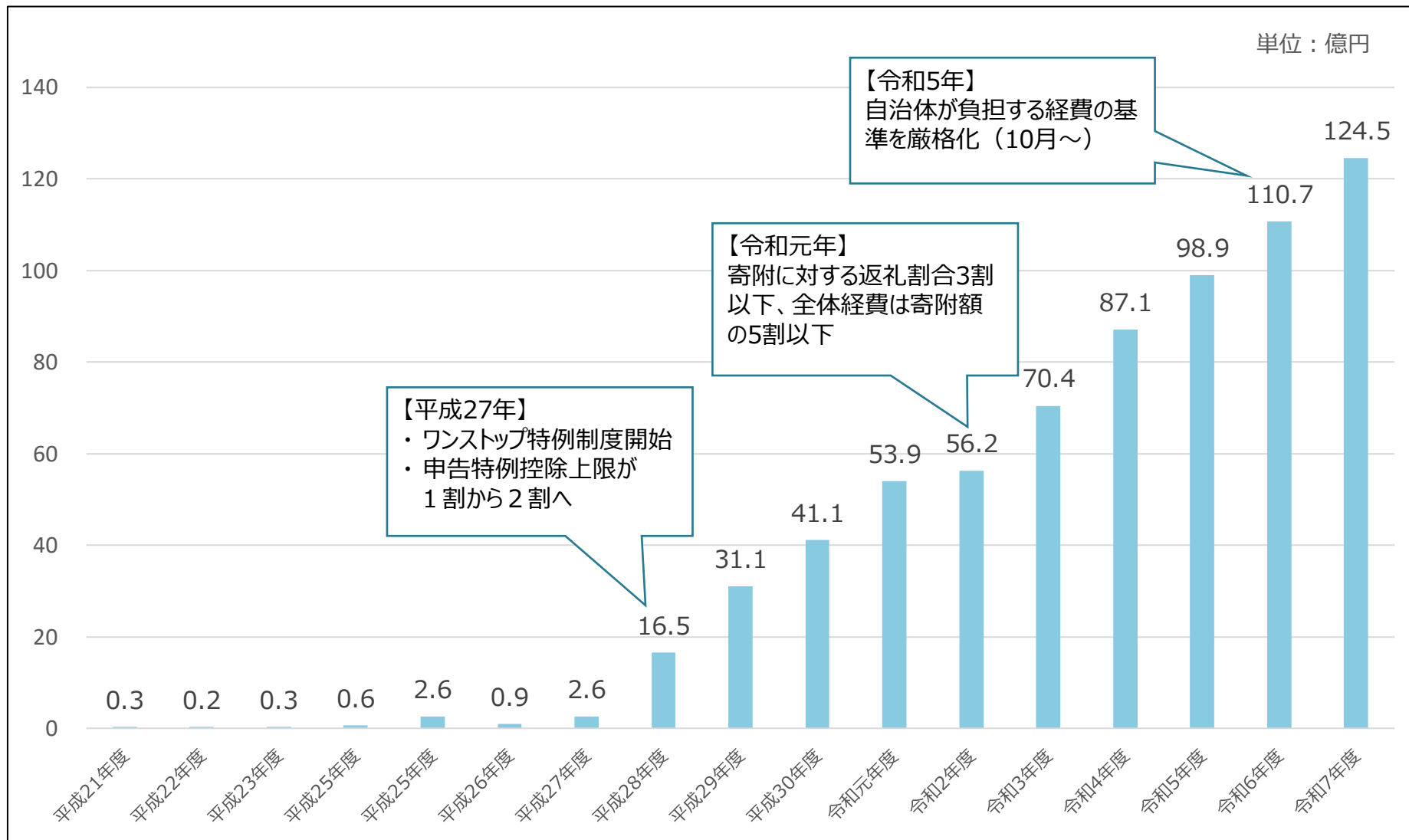
※3 令和元年度まで及び令和5年度以降は7月1日を基準日とする集計値。

確定申告提出期限が延長されたため、令和2年度は9月11日、
令和3年度及び令和4年度は9月13日を基準日としている。

※4 個人からの寄附のほか、法人等からの寄附も含む。

※5 個人からの寄附(遺贈、寄附者が特定できない寄附は含まない)。

世田谷区からの流出額

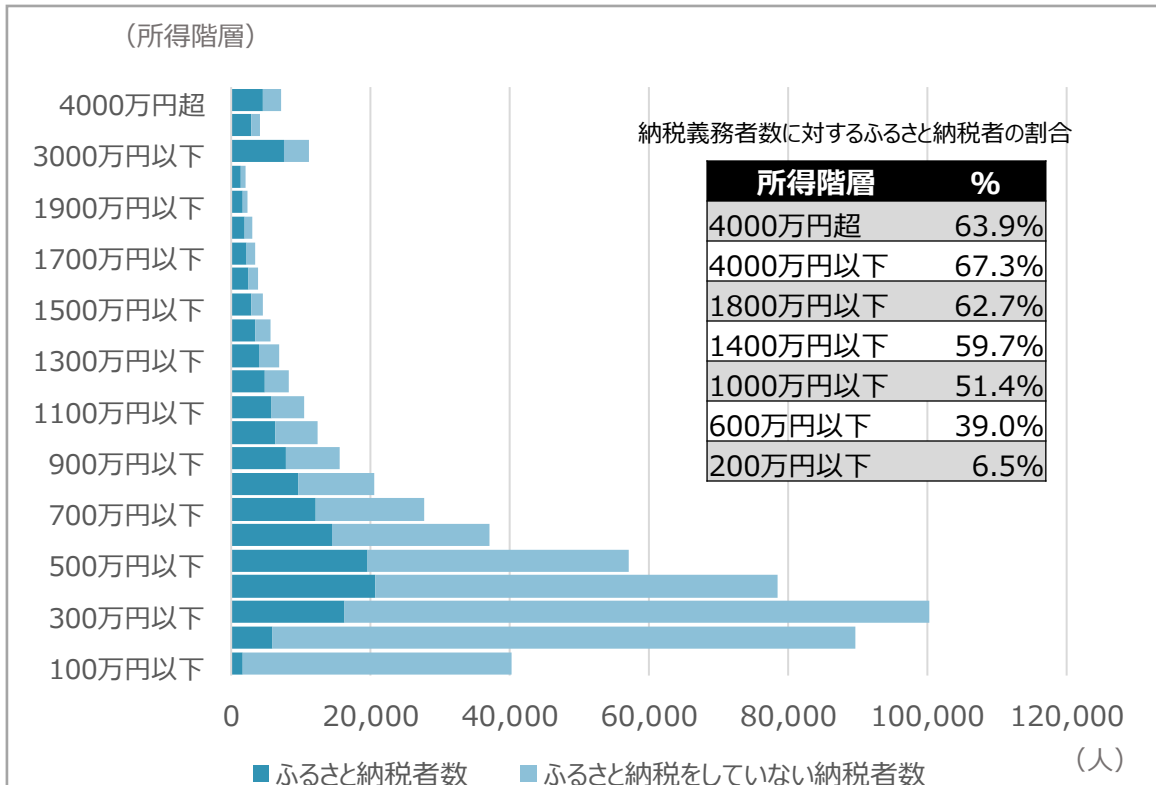


※金額は各年度の前年の1月1日～12月31日の所得等により算出された額

世田谷区民のふるさと納税の傾向

ふるさと納税をしている人の傾向（所得層別）

- 300万円より大きく、400万円以下の所得層が、ふるさと納税を利用する人数が最も多い。
- ふるさと納税を利用する人は、1,000万円以下の所得層までで全体の約72%を占める。
- 高所得になるほど納税義務者に対するふるさと納税の利用割合が大きく、寄附金額も大きくなる。



※ 納税義務者数は、令和7年7月1日時点の暫定値

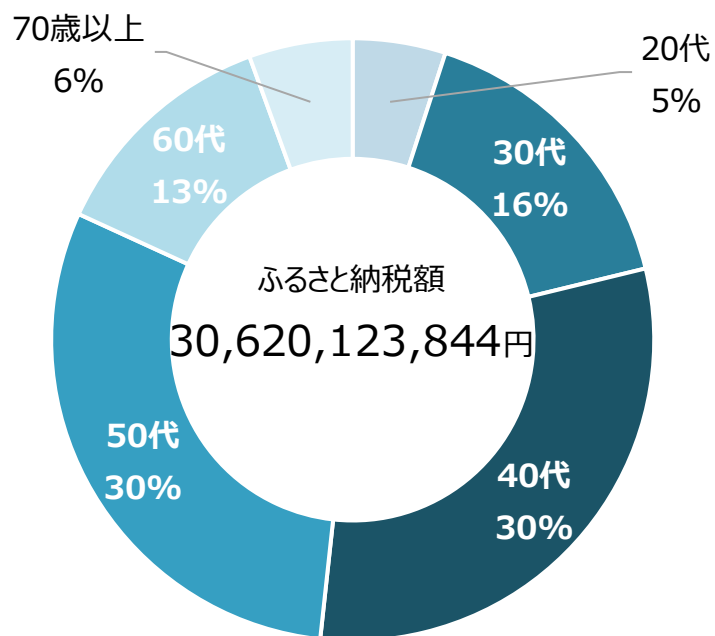
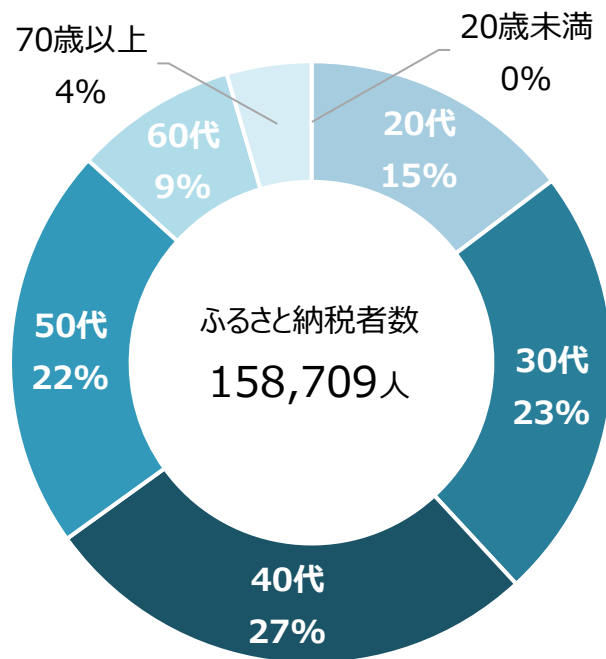
※ 2千万1円以上は、1,000万円単位で表示している。

階層	ふるさと納税者数 (人)	構成比	寄附額 (円)	一人あたり寄附額 (円)
4000万円超	4,531	2.9%	8,121,637,143	1,792,460
4000万円以下	2,773	1.8%	2,090,602,816	753,914
3000万円以下	7,561	4.8%	4,091,608,933	541,147
2000万円以下	1,343	0.9%	554,572,112	412,935
1900万円以下	1,543	1.0%	584,714,810	378,947
1800万円以下	1,839	1.2%	692,824,920	376,740
1700万円以下	2,124	1.3%	708,355,730	333,501
1600万円以下	2,420	1.5%	771,164,544	318,663
1500万円以下	2,796	1.8%	811,055,164	290,077
1400万円以下	3,348	2.1%	900,802,760	269,057
1300万円以下	3,961	2.5%	953,136,210	240,630
1200万円以下	4,714	3.0%	994,579,904	210,984
1100万円以下	5,670	3.6%	1,003,177,442	176,927
1000万円以下	6,358	4.0%	985,662,546	155,027
900万円以下	7,751	4.9%	1,039,280,026	134,083
800万円以下	9,665	6.1%	1,117,943,414	115,669
700万円以下	12,070	7.6%	1,181,280,806	97,869
600万円以下	14,479	9.1%	1,163,612,538	80,366
500万円以下	19,545	12.3%	1,175,336,511	60,135
400万円以下	20,626	13.0%	929,563,604	45,068
300万円以下	16,248	10.2%	547,041,947	33,668
200万円以下	5,813	3.7%	148,167,930	25,489
100万円以下	1,531	1.0%	54,002,034	35,272

世田谷区民のふるさと納税の傾向

ふるさと納税をしている人の傾向（年代別）

- 人数、寄附金額ともに40代がもっとも多い。
- 30～50代が人数では全体の約72%を、金額では、全体の約77%を占めている。
- 一人あたりの寄附金額では、60代が最も高い。



年齢層	一人あたり寄附額（円）
20歳未満	108,588
20代	65,508
30代	133,537
40代	218,494
50代	268,329
60代	278,207
70歳以上	236,132

世田谷区への寄附実績 ― 基金等別 ―

金額単位（円）

基金名等	全体		個人								法人		不明	
					うち区内		うち区外		遺贈					
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
子ども基金	2,150	80,326,620	2,143	79,790,800	142	19,786,300	2,001	60,004,500	0	0	7	535,820	0	0
児童養護施設退所者等奨学・自立支援基金	975	69,001,088	875	64,666,818	215	20,862,300	659	24,248,500	1	19,556,018	5	1,801,050	95	2,533,220
医療的ケア児の笑顔を支える基金	977	27,166,435	973	25,964,435	70	4,882,799	903	21,081,636	0	0	1	1,196,000	3	6,000
地域保健福祉等推進基金	520	23,909,024	512	17,443,191	78	6,057,500	433	11,373,000	1	12,691	8	6,465,833	0	0
みどりのトラスト基金	381	13,714,860	372	12,481,000	51	1,545,000	321	10,936,000	0	0	9	1,233,860	0	0
スポーツ推進基金	321	13,039,000	321	13,039,000	110	4,453,000	211	8,586,000	0	0	0	0	0	0
災害対策基金	379	12,538,875	378	12,438,875	39	2,904,800	339	9,534,075	0	0	1	100,000	0	0
気候危機対策基金	247	7,143,500	247	7,143,500	16	864,500	231	6,279,000	0	0	0	0	0	0
文化振興基金	342	7,135,500	340	7,101,000	12	293,000	328	6,808,000	0	0	2	34,500	0	0
義務教育施設整備基金	120	6,164,111	118	6,054,111	23	2,042,000	95	4,012,111	0	0	2	110,000	0	0
世田谷遊びと学びの教育基金	63	2,024,600	60	1,969,000	12	345,000	48	1,624,000	0	0	3	55,600	0	0
国際平和交流基金	30	1,189,320	29	1,187,000	7	314,000	22	873,000	0	0	1	2,320	0	0
等々力溪谷プロジェクト	751	24,333,458	749	23,779,300	96	4,602,000	653	19,177,300	0	0	2	554,158	0	0
せたがや 動物とともにいきるまちプロジェクト	370	17,291,580	369	16,791,580	63	3,057,580	306	13,734,000	0	0	1	500,000	0	0
本庁舎等整備プロジェクト	142	6,628,000	137	5,228,000	68	2,760,000	69	2,468,000	0	0	5	1,400,000	0	0
あそりプロジェクト	223	6,014,028	222	5,844,028	35	490,028	187	5,354,000	0	0	1	170,000	0	0
一般寄附金	2,042	721,768,087	2,037	720,368,087	57	3,705,000	1,978	52,058,860	2	664,604,227	3	1,200,000	2	200,000
総計	10,033	1,039,388,086	9,882	1,021,289,725	1,094	78,964,807	8,784	258,151,982	4	684,172,936	51	15,359,141	100	2,739,220

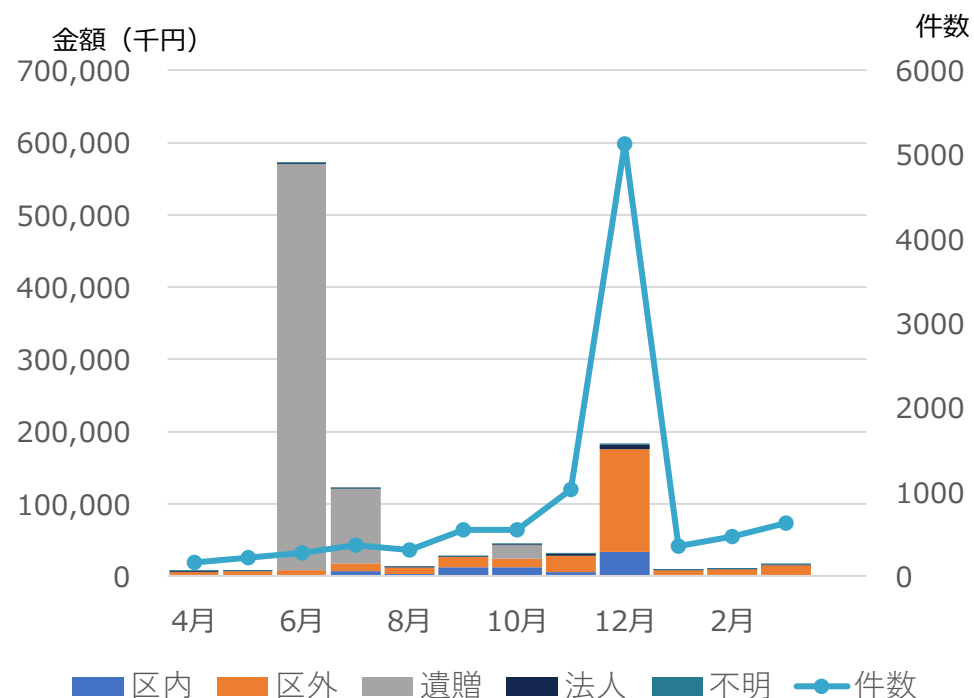
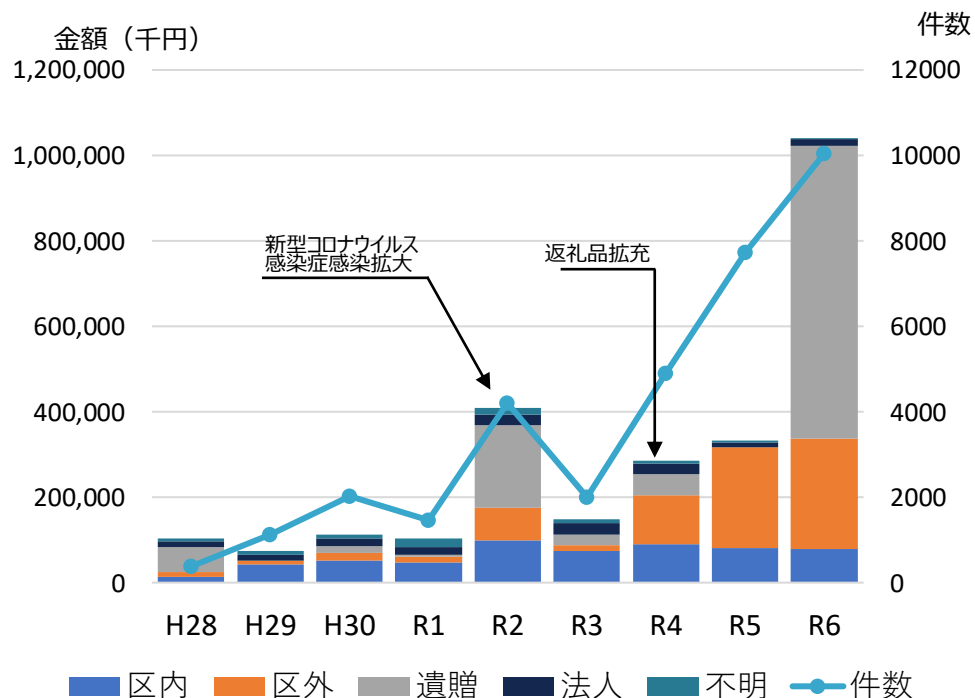
世田谷区への寄附傾向 — 年度別・令和6年度月別 —

年度別寄附実績

- 区民からの寄附は例年コンスタントにいただいている。
- 令和2年度はコロナの影響もあり、区内外からの寄附が増加した。
- 令和4年11月下旬に、返礼品等を拡充して以降、区外からの寄附が大幅に増加した。
- 令和6年度は遺贈により寄附が大幅に増加した。

令和6年度月別の寄附実績

- 6月に遺贈による寄附があり、金額が大幅に増加した。
- 例年どおり、10月から12月にかけて寄附件数・金額ともに増加した。



令和 7 年度ふるさと納税に関する取組み

基本的な考え方

ふるさと納税による減収額が、これまでと同様のペースで伸び続ける場合、区の財政見通し以上の基金を取り崩す状況も想定されるなど、財政状況は決して楽観視できる状況にはない。

■ 庁内各部への周知

これまでも、令和 7 年度予算編成についての依命通達（令和 6 年 8 月 22 日）や区政運営についての依命通達（令和 7 年 4 月 1 日）等でも、ふるさと納税対策や財源確保の取組みに全庁を挙げて取り組むことを伝えてきた。

各部はこのことを十分肝に銘じ、事業実施に当たっては、これまで以上に財源の確保を意識した取組みを行うこと。

■ 取組み方針と寄附目標額

クラウドファンディングの手法を活用した積極的な寄附募集や、より共感を得られる寄附の使い道の設定、全国的に関心を盛り立てる返礼品の一層の充実等を図ることで、令和 7 年度は**7 億円の寄附獲得を目標**とする。また、流出の現状や制度の問題点等の広報と合わせ、特別区長会による要望活動等あらゆる機会を捉え制度是正を国に訴えていく。

13の基金、3つのプロジェクトについて寄附を募集している（令和7年7月29日時点）

■新たな寄附募集の取組み

区内大学等応援補助事業

区内大学が実施する生涯学習事業や区の地域課題解決につながる教育及び研究活動等に対する寄附を募集する。（令和7年10月より寄附募集予定）

【担当部】政策経営部

児童館整備に向けた寄附募集

九品仏地区、奥沢地区の各児童館整備に向け寄附を募集する。

（令和7年10月より寄附募集予定）

【担当部】子ども・若者部

学校改築に伴う学校名を指定した寄附募集

今後改築を予定している学校（改築中を含む）を指定した寄附を募集する。（令和7年秋頃より寄附募集予定）

【担当部】教育政策・生涯学習部

■第20回世田谷246ハーフマラソン出走権【継続】

【寄附目標額】 1,400万円

寄附募集期間	令和7年7月1日～9月15日
寄附金額	35,000円
返礼品等	ハーフマラソン出走権

寄附金はスポーツ推進基金への寄附となる。

【担当部】スポーツ推進部

■等々力溪谷プロジェクト～みんなで育む緑と水～【継続】

【令和7年度寄附目標額】 1,000万円

【寄附募集期間】～令和7年12月末（予定）

【概要】 危険木の伐採や剪定作業、樹林地の生育環境や等々力溪谷公園内の利用環境の改善等に活用するため、寄附を募集する。

【令和6年度寄附実績額】2,433万円（目標額1,000万円）

【担当部】みどり33推進担当部

■寄附の使い道の拡充

犯罪被害者等支援等基金

犯罪被害者等支援を持続的に行うため、令和7年度に基金を創設し寄附を募集している。

【担当部】生活文化政策部

児童養護施設退所者等奨学・自立支援基金

基金条例を改正し、令和7年度から、虐待等の逆境的体験があり、親族からのサポートがなく困難な状況にある若者にも対象を広げるとともに、給付型奨学金・資格等取得支援・家賃支援に加えて、医療費支援、高等学校卒業程度認定試験補助、賃貸住宅保証料補助等にも活用できるよう、使い道を拡大した。

【担当部】子ども・若者部

■返礼品等と寄附環境の拡充

【返礼品の拡充】（令和7年7月29日時点）

●スイーツ、レストランチケット、せたがやPayふるさとポイント、体験型返礼品（1日駅長体験ほか）等 約200点

【利用している寄附受付ポータルサイト】計15サイト

ふるさとチョイス、さとふる、楽天ふるさと納税、ふるなび等

【参考】ふるさと納税制度に関する特別区長会講演会の概要

土居 丈朗 氏（慶應義塾大学 経済学部教授）

▶ 現状と課題

特別区では、納税義務者の5%程度しかいない高所得層が全体の40%を超える寄附金控除を受けており、減収の多くは高所得者層の寄附によって生じている。

▶ 改善点

住民の共感から制度の行き過ぎた部分を改める流れに導いていく必要があり、減収が行政サービスに与える影響等について、住民に認識してもらうことが重要。一定以上の所得層に対し、控除額の制限を定めるという問題提起ができるのではないか。

沼尾 波子 氏（東洋大学 国際学部教授）

▶ 現状と課題

寄附金の5割程度が経費となり、返礼品等が地方税財源を浸食している。高所得者層がより多くの利得を享受でき、垂直的公平性を阻害している。

▶ 改善点

特例分の控除額に上限を設定し、高額所得者が多大な利得を得る仕組みを変える。寄附金控除の対象となる寄附金額から、返礼品相当額を除外する。

池上 岳彦 氏（立教大学 経済学部教授）

▶ 現状と課題

寄附受入額について地方自治体間格差が生じている（上位20団体が2割）。地方交付税による減収補填は、本来行政サービスに充てるべき地方交付税の財源を圧迫し、実質的に将来世代へ負担を先送りすることとなり、非常に大きな問題である。

▶ 改善点

寄附金控除の対象額から返礼品に相当する金額を除く。
本来の趣旨にそぐわない多くの問題が浮き彫りとなっていることについて、都民に問題を周知する取組を強化し理解を促進していく。制度について、問題意識を同じくする地方自治体等と連携し、国に対して制度の見直しを求めていく。